

東洋から西洋へ

～西洋磁器の技術開発と発展の歴史～

中国の商の時代に開発された磁器セラミックスが、どのような経緯で西洋に伝播したのか、そしてその伝播における日本の柿右衛門の役割について講義します。

また当時の西洋社会が、どのように独自の磁器を開発したのか、技術的な観点からも解説します。



【開催日時】 令和3年 **7月16日**(金) 18:00～19:30

【講師】 北見工業大学 応用化学系・教授 **大野 智也**

【開催会場】 北見工業大学 3号館2階 **多目的講義室**

【参加対象】 **北見市在住**の方のみ

※新型コロナウイルス感染症の拡大抑止のため、北見市外の方の参加はご遠慮ください。

【参加定員】 最大**20**名まで (先着順・完全事前予約制)

【申込概要】 **7月14日**(水)までに**お電話**でお申し込みください。

※電話受付時間は平日9時から17時までとなります。

参加費
無料

感染症対策へのご協力をお願い

※受講の際は、下記の点にご協力をお願いいたします。



検温のご協力



マスクの着用



手洗いの徹底



手指の消毒



距離の確保



定期的な換気

道民カレッジ

本講座は令和3年度前期道民カレッジ連携講座(1単位)に指定されています。



申込・問合せ先

北見工業大学 研究協力課 地域連携担当
〒090-8507 北見市公園町165番地
TEL:0157-26-9158/FAX:0157-26-9155
E-mail:kenkyu09@desk.kitami-it.ac.jp